バージョンアップ情報〔経理上手くんα ProⅡ〕

VERSION:25.007

日本ICS
TIS INTEC Group

2025 年　5 月　7 日

●経理上手くんα　ProⅡ　VERSION:14.209
●経理上手くんαクラウド　ProⅡ・経理上手くんαクラウド SE ProⅡ　VERSION:14.209

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆　導入・更新

➢　データ抽出

抽出元マスターに入力していた「登録番号」が、抽出先マスターの「登録番号」に抽出されず、「手形番号」に抽出されていたのを修正しました。
また、抽出元マスターで「登録番号」と「手形番号」を入力していると、「登録番号」＋「手形番号」が「手形番号」に抽出され、手形番号の入力桁数が 11 桁以上の場合に不正終了していました。
《ご注意》Ver.14.207 以降でデータ抽出を実施した場合は仕訳データを確認してください。

◆　登録入力

➢　伝票発行

入金伝票、出金伝票の集計において、通常入力した仕訳が含まれ且つ仕訳総数が 9 件以上となると、同一伝票番号・同一日付内の伝票が入力順で集計されていなかったのを修正しました。

◆　出力（DX・ProⅡのみ）

➢　試算表・分析表

電子記録債権科目バージョンアップ後にプレビュー、印刷すると「×[OK]」が表示される場合があったのを修正しました。
※現象が発生しているマスターに対しての自動修復は後日予定しています。

◆　通信・移動

➢　マスター＆データ抽出

過年度マスターの「マスター抽出」を行うと、当期マスターに保存されている原票イメージデータが消える現象を修正しました。
《条件》
⑴過年度が「原票イメージ保存：行わない」、当期が「原票イメージ保存：行う」の設定
⑵当期のマスターの過年度として過年度マスターを抽出する
《現象》
当期マスターの設定は「原票イメージ保存：行う」で変更されていませんが、下記の現象等が発生していました。
⑴仕訳入力画面にて、原票読取ボタン、原票イメージ表示ボタンが表示されない
《ご注意》
既に現象が発生している場合は抽出前のバックアップデータからリストアする必要があります。

ご注意

●他のＩＣＳシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のＩＣＳシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

以上